

平成29年度 第1回 砂川市地域公共交通会議

日時：平成29年5月16日 午後2時から

場所：砂川市役所 中会議室

出席者：

区分	所属・役職	氏名	備考
会長 (1号委員)	砂川市 副市長	角丸 誠一	
副会長 (2号委員)	北海道運輸局札幌運輸支局 首席運輸企画専門官	中山 俊彰	
3号委員	北海道空知総合振興局 地域政策課長	工藤 稔 (代理：森本亜紀)	
4号委員	北海道中央バス(株) 空知統轄事務所業務係長	山田 絵美	
	砂川北星ハイヤー(株) 営業部長	庄司 浩二	
	(株)三星 常務取締役	梅野 恒夫	
6号委員	北海道地方交通運輸産業労働組合 協議会 副議長	今 倫康 (代理：杉浦一希)	
監事 (7号委員)	砂川市町内会連合会 副会長	高村 雄渾	
	砂川市社会福祉協議会 副会長	岡本 昌昭	
7号委員	砂川市老人クラブ連合会 会長	鈴木 日出男	
8号委員	砂川市 総務部長	熊崎 一弘	
	砂川市 市民部長	中村 一久	

欠席者：

4号委員	ふじ観光(株) 代表取締役	出村 省三	
5号委員	札幌地区バス協会 事務局	野川 祐次	

事務局：

区分	所属・役職	氏名
事務局長	砂川市 市民生活課長	佐藤 哲朗
事務局	砂川市 市民生活課生活交通係長	斉藤 亜希子
	砂川市 市民生活課生活交通係主任	大友 健司

1. 開 会

事務局長

2. 挨拶

→会長より、会議を代表し挨拶をした。

会 長： どうも皆様、お疲れ様でございます。ご多忙の中、第1回公共交通会議にお集まりをいただきまして、誠にありがとうございます。委員の方も変わられたようですが、引き続き会議に出席賜りますよう、よろしくお願いを申し上げます。当市の公共交通、いわゆる乗合タクシーについては、お陰様を持ちまして、事業者のご協力、あるいは委員各位のご理解の元、平成27年10月から本格運行を始め、昨年の平成28年9月末をもって、やっと1年が終わり、昨年の10月から2年次目に入ったところです。利用登録者数についても、当初の平成27年10月では920人程でしたが、今年の3月末では1,108人と、188人程利用登録が増えています。後ほど事務局から報告しますが、当市で発行している敬老バス券や敬老ハイヤー券等があります。その敬老ハイヤー券のなかに、乗合タクシーの利用券も含めました。そして今年度から、運転免許証の自主返納ということで、乗合タクシーの利用券を配布して支援しているところです。今後も少しずつ利用が増えるのかなと考えているところでございます。昨年も公共交通会議を開催していますが、当日予約の取り入れや、同じ砂川の地域のなかで300円、500円と利用料金がわかれているという部分もご指摘されております。課題としてとらまえていますが、なかなか難しいところがあります。既存の公共交通、いわゆるバス・タクシー事業になるべくご迷惑をかけないような形を模索しながら取り組んでいるところであり、一概にすぐは解決できないのですが、課題としてとらまえております。何か良い方法がないか意識しているところでございますので、そのような点をご理解をいただければと思います。本日のメインについては、本年10月からの第3年次目の運行方針、乗合タクシーの利用計画に向けての基本的な考え方の確認になろうかと思いますが、まだ事業を進めて1年半、あるいは2年弱ですので、利用にあたって、事業運営にあたって、いろいろお気づきの点等あればご意見を賜ればと思っています。よろしくご審議の程お願いいたしまして、挨拶に代えさせていただきます。

3. 委嘱書交付

→各委員へ委嘱書を交付した。

4. 副会長及び監事の指名について

→会長より、砂川市地域公共交通会議設置要綱第5条第2項の規定に基づき、以下の委員を副会長と監事に指名する旨報告した。

(副会長) 北海道運輸局札幌運輸支局首席運輸企画専門官の中山俊彰氏

(監 事) 砂川市町内会連合会副会長の高村雄渾氏

(監 事) 砂川市社会福祉協議会副会長の岡本昌昭氏

5. 議 事

(1) 砂川市地域公共交通会議委員について

→事務局より、砂川市地域公共交通会議委員について説明した。

【質疑応答】

なし

→承認

(2) 平成28年度歳出予算の流用について

→事務局より、平成28年度歳出予算の流用について説明した。

【質疑応答】

なし

→承認

(3) 平成29年度砂川市地域公共交通会議予算（案）について

→事務局より、平成29年度砂川市地域公共交通会議予算（案）について説明した。

【質疑応答】

なし

→承認

(4) 砂川市敬老助成事業について

→事務局より、資料1に基づき説明した。

【質疑応答】

委 員： ハイヤー券ですが、わかりづらいと思う。2枚綴りで200円なのですが、最初の頃は2枚綴りで100円と思っていたお客さんがいた。枚数が多すぎて、こちらの管理も大変になっています。1枚300円にすれば乗合タクシーにも使える、500円のは200円を出せばやっつけていける。来年度からは、1枚300円にしてもらえればわかりやすい。この2か月くらいで、毎日150枚くらい使われている。どこの会社もそうだと思う。

会 長： 担当部署が違うので、金種にわけてというか、300円、500円が可能なのかどうか。

委員：今年度はどうしようもないので、来年度は1枚300円ずつでやってもらった方が、枚数を数えるのも楽になる。

会長：どれほど利用されているか、今のところまだわからない。

委員：乗合タクシーにも使われるが、普通のタクシーにも使われている。

会長：普通のタクシーにも使われて、枚数が多くなるよりは。

委員：そうですね。

会長：300円が良いのか。

委員：300円にしてもらえれば、乗合タクシーの大人の最低料金が300円なので、わかりやすいような気がします。

会長：だけど、乗る人によっては700円、800円などになって、小銭を出さなければいけなくなる。検討させていただければと思います。

→承認

(5) 砂川市運転免許証自主返納サポート事業について

→事務局より、資料2に基づき説明した。

【質疑応答】

会長：3,000円分の無料券というのは、100円ずつなのか。

事務局：例えば300円エリアの人だと、1枚300円の無料券を10枚差し上げている。

会長：無料券はそのように作っている。

委員：無料券に金額を入れた方が良いと思う。私たちが金額をわかっているのに、ドライバーに説明をしてはいるが、ドライバーに少しわかりづらい。できれば金額も入れた方が良いと思う。

会長：金額を入れることは可能なのか。

事務局：可能です。

→承認

(6) 北海道運輸局における二次評価結果について

→事務局より、資料3に基づき説明した。

【質疑応答】

委員： 運輸局の評価結果については、だいぶやさしく書いていますので、利用促進の方を進めていただければと思います。

委員： 北エリア2、空知太の方は、調査運行のときはけっこう利用者がいたが、本格運行になってから少なくなった。実際、調査運行のときに使っていた人が使わなくなった。

会長： その要因というのは。

委員： 要因まではわからないが、個人的には500円に高くなったから使わなくなった気もする。バスだと300円くらいで行きますから。

会長： 農協さんが毎週木曜日、空知太の農協がなくなったので、週1回無料のバスを出してまちなかに運んでいる。そのバスにけっこう乗っているという話を聞く。

委員： けっこう乗っていると思います。調査運行のときは、空知太の人でふれあいセンターまで使う人がけっこういた。500円になってから、ふれあいセンターに行く人はいなくなった。年齢的な問題で行かなくなったのかはわかりませんが。登録番号の2,000番代と5,000番代（北エリア2）の利用人数が少なくなった。

会長： 利用料金が300円と500円で2通りありますが、500円の人利用割合がどれくらいあるのかと言うと、全体のなかの15%くらい。係る経費に要するウェイトとしてどうなのかというのが1つ。そして、利用しやすくなると民業の圧迫と言いますか、普通のハイヤーやバスがあるのに乗合タクシーの方に人が流れてしまい、首を絞めているようなものだという話になる部分もあって、統一するのが良いのか、差をつけた方が良いのか、財源的にあまり大した額でないのであれば、一律というのもあるのかなという検証はしているところです。ただ、実態として使われているのが少ないとなると、農協のバスの影響なのか、滝川の商圈の方へ流れているのか、それ以外の要因なのか、いろいろあるかと思います。

委員： わからないですね。調査運行のときと比べると、5,000番代（北エリア2）の利用者は半数くらいになっている気はしている。ただ、ハイヤー会社としては乗合タクシーを安くして、そればかりに乗られても困る。

会長： そういう点もありますし、調査運行のときは当日予約もやっていました。一般のお客さんと乗合タクシーのお客さんの予約があって、配車ルートを作っても飛び込みで予約が入ってきたら、配車ルートを変更しなければならないというような混乱がタクシー会社に生じ、当日予約は難しいとなった。

- 委員： 人数が少なければ良いが、多いと困る。ドライバーに配車ルートを渡した後に飛び込みの予約があると、回りきれなくなる。
- 会長： そこで、前日の4時までに予約をしてもらうことになった。そのような混乱が生じるとは思っていなかった。
- 委員： 昨年からは、当日10時まで予約できるようになったので、毎日のように午後からの便に予約が入っている。毎日どこかのエリアで、誰かが乗っている。買い物に行く人には都合が良いのではないか。12:00に乗って行き、14:30に乗って帰る。
- 会長： 問題は、その日の午前中に買い物に行きたいとかだと予約が間に合わないので、どうやって行けるようにするのか模索はしているところ。
- 委員： 当日の受付は小型だと可能だが、平日はジャンボなので、平日の午前中に予約がなければドライバーに午前中は休んで良いと伝えている。そういうことができなくなる。毎日絶えずドライバーを用意することになると、今の報償ではやっていけなくなり、市の負担も多くなる。難しい問題。
- 会長： 先進地では、電話が入ったら登録番号などでルートがすぐにカーナビに反映されたりするのですが、砂川市は3社で事業をやっていたら、1月毎にエリアが変わり、予約は1社が代表して受付していただくと、システムを導入するのは非常に難しい。どのようにシステムを使えば良いのかなど、どうやったらできるのか考えている最中です。事業者さんともご相談しなければいけないことがいろいろあるので、大変難しい部分はあるかと思っているところではあります。利用者が減った要因としては、そういうのもあるのかなと思います。
- 委員： 5,000番代（北エリア2）の方は、そうではないかと思えます。北光などの1,000番代（北エリア1）は、最近利用が増えてきている気はする。エリアの変更も必要でないかと思えます。3,000番代（南エリア）が広すぎる。北吉野など1,000番代（北エリア1）に入れても良いエリアが3,000番代（南エリア）に入っている。人が多いと時間がかかる。滅多にないが、多いときは14人くらい乗るときがあるので、小型2台を出さなければ回りきれないことがある。それでも、南エリアは8～9人乗るときがある。墓地の方も南エリアなので、西豊沼の方に行かなくても、普通に回っても30分では厳しくなる。来年に向けてはエリアの変更が必要ではないかという気がします。
- 会長： わかりました。それは「(7) 砂川市予約型乗合タクシー運行方針」の方で、またご意見いただければと思います。

→承認

(7) 砂川市予約型乗合タクシー運行方針について

→事務局より、資料4に基づき説明した。

【質疑応答】

会 長： 先ほど出ていたエリアの見直しが可能なのかどうなのか。

事務局： 今年の10月からの計画に反映するのは難しいと思います。2年目が終わってからアンケート調査等も予定しているので、その結果を見ながら事業者さんとも協議をして、翌年度に向けて改善していきたいと考えてはいます。

会 長： すぐ、10月からというには小さな改善で、大きな見直しになるとちょっと、ということになる。

委 員： 2、3点あります。我々高齢者、老人クラブ関係でいろいろ意見の聞き取りをしているのですが、そのなかで1番多いのが予約時間の拡大です。平成28年10月から一部改善されたのですが、システム改修にお金がかかるし、なかなか難しいのでできませんという話でした。平成28年10月から、午後12:00の便から当日予約もできるようになったので大変ありがたいことだったのですが、一步踏み込んで、当日全便予約できないかということです。どうして当日予約をお願いしたいのかと言うと、高齢者・年寄りが多くなってきている関係で、当日身体の調子が悪くなって病院に行きたいなということがありますし、スーパーの広告を見て今日買い物に行きたいけど予約をしていないということがあるので、なんとかできないかということです。できないと言われていたシステム改修も、半日はできるようになったので、どれくらいお金がかかるかわからないのですが、システム改修をして当日全便予約できないかということです。システム改修が可能かもしれないけれど、業者さんの方で対応できないのでできないとなれば、話は別になりますが、絶対できないものであればできないとお話いただければ、私たちが皆さんにお話しして納得してくれるかもしれない。予約の拡大についてお願いしたいと思っています。また、料金の関係ですが、300円、500円の線引きが4kmとなっています。どこかで線を引く必要があるのですが仕方がないのですが、隣の家は300円で、こっちは500円。感情的に悪い面もあって、隣の家と変わらないのに私は500円で、向かいの家は300円ではないかという話もあります。どれくらい市役所の負担が増えるのか、利用者の数で計算してみたのですが、そんなに変わらないのです。500円を300円にしても、約24万3千円違うだけです。それくらいならなんとかならないかということ。利用しやすくすれば免許の自主返納も進み、交通事故がなくなるので、お願いしたいと思っています。料金は公共交通ということで、1本化できないかと思います。300円に統一すると、事務手続きもそれなりに簡素化されるので、良くなるのではないかと思います。地域の人に聞くと、300円なら利用したいなという人はけっこういます。500円の方はあまり人がいない場所ですが、そのように進めていけば、免許の返納も進んでいくと思います。国から補助をもらってやっているのですが、ある程度受益者負担でやらなければいけないというのであれば話は別ですが、なんとかできるのであれば、そんなに多額の金額でもないのでは対応できないかなと感じています。ご検討をお願いしたいと思っています。そして運行時間ですが、1番言われているのが行き便の11:00がないこと。いろいろなイベントがお昼からあるのですが、12:00の便で行くと着いてから休む時間がなく、軽い食事も取れない。11:00があれば少し余裕がある。行事等を考えると11:00の便を入れていただければありがたいと思いますので、なんとか入れられないか。ただ、11:00の便を入れるとドライバーさんの休憩時間がなくなり、食事の時間がなくなるのは十分わかるのですが、なんとか1便だけでも代わり

の人にやってもらうなどの対応ができないものかと思っています。その点について、お願いしたいと思います。

会 長： 前に11:00という話が出ていましたが、運転手の休憩とか昼食などがあるという話で、どうすれば可能になるのか詰まっていないのかなと感じています。

委 員： 11:00の便があっても利用する人がいれば、利用しない人もいるので、毎日ではない。

会 長： 根底は、既存のバス交通が走っている。朝、急に具合が悪くなったりしたら、ハイヤー利用だと思うのです。調査運行では、確かに当日受付をしました。できるか、できないかを含め、わからないのでやりました。1番最初の便は8:00に出発する。その1番最初の便の予約が、蓋を開けてみると8:00に近い時間に集約されて電話がくるようになった。何時までにしてほしいと言うと、「何時まで」が残って、朝早くから予約がこない。電話が集中してから回る割り振りを考えると、思うように組めない、あるいは飛び込みの予約が入ってくると、通常の前予約の割り振りも組めない。例えば朝8:00から市立病院に行きたい人は、いろいろな地域の人が手を挙げて申し込まれる。まず物理的に、そこを回るコースを組み立てる時間がない。調査運行は3社で受付をしていたので、無理をしながらでも自社の車だったので修正が効いたと思うのです。それぞれ、3つのエリアを各ハイヤー会社さんが1つずつ持っていたからできた。それをハイヤー会社さんが毎月エリアを変えて運行するというようにしたので、当日の朝受付をしていると、それぞれの会社に連絡をしなければいけない。朝8:00の便だと、例えば6:00や7:00くらいに誰かが受付対応をして、電話をするかFAXを流すか連絡をしなければいけない。そういう体制が今はできていない。当日受付をしてほしいとなると、その体制から組み立てをしていかなければならない問題がある。すぐできるかとなると、人の体制からいろいろな事を含めてということになるので、そこはまずご理解いただければと思います。当日やってあげたいけど、物理的に今は非常に難しい。そして、システムもまだ導入されていません。電話予約を受けたら登録している場所が地図上に表示されて、ルートもすぐわかるというようなシステムが先進地にあるようなのですが、そういうシステムを導入できないか。金額が高いようですけど。今いろいろな自治体を調べていますが、近隣はすべて前日の夕方まで。せいぜいキャンセルなどの変更を、夜8:00くらいまで受付しているところはある。当日受付をして、当日運行するというのは、かなり難しい状況があるのかなと理解しています。ですが、今は当日の午後からの便が受付できますという状況で、一番早い便がダメだとしたら、午前中のどこまでの便ならできるのかということは考えなければいけないと思っていますが、それもハイヤー事業者さんと、どこまでできるのか、どうやったらできるのかということは今後まだ詰めていかないと、何ともならない状況がある。言われていることは重々わかっております。それと料金のお話をされていました。先ほど、実態として15%くらいしか500円の人利用がない。今後、まだそういう伸びなのか、市内一律300円にしたらもっと利用が増えるのかちょっとわかりませんが、制度を導入するときに差額をつけたのは、この制度を永く続けていくためには、それ相応の負担をしてもらわなければいけないだろう。そのような思いもあって差額運賃でスタートしていますが、9月末までの2年を踏まえてどうなのかということは見なければいけないという気には思っています。10月からすぐやってほしいと言われても、10月から9月までという1年間のスケジュールの事業で動いていますから、すぐ反映というのは難しいかと思

ます。ご指摘の通り、それは少し考えている部分はございますので、ご理解をしていただきたいと思ひます。

委員： 直ちにとは申していませんので、次の計画を出すまでには検討をしていただきたいということです。10月からやっていくのは無理だという話は十分わかっています。言われることはわかるのですが、私は料金を一律にした方が収入も上がると思ひているので、その方が永く続けることができるのではないかと感じています。

会長： ただ、どうしても既存の公共交通がありますので、そこに迷惑をかけないように、隙間をどうやって埋めていくか。いざというときの対応は難しい。いざというときはやはり救急車になるのか、ハイヤーになるのかわかりませんが、どこまで満足できるものにしていけるのか。この事業で100%満足というのは、砂川市の状況から言えば難しいのかなと思ひているところです。

委員： それは十分理解しています。

委員： 帰りをを使う人は、行き半分の。

会長： だから帰りは1時間前にできる。

委員： 帰りは1時間前まで予約できますよと言ひても、結局は行った人の半分くらいしか帰りは使わない。だから当日どうしてもという人は、一部だと思ひます。全部で20人乗ったとしても、帰りをを使うのは10人弱くらい。

会長： 帰りも一括して受付しているのですか。

委員： そうです。予約をしている人と当日1時間前に予約をした人も、トータルで半分くらいしか乗っていません。

会長： 帰りはということ。例えば病院に行ったら、帰る時間がいつになるかわからないという話は良く聞く。見通しが立たないから予約ができないというのはあると思ひう。

委員： 市立病院まで行って上手く使っている人は、精算をする前に電話をくれる。自分で時間がわかっている。病院が早く終わったから、農協で買い物をして帰るから農協に迎えに来てと、違う場所で予約をする。理解している人は上手に使う。理解していない人は何故この時間なのか、いつも聞いてくる。当日は午後からでないとダメだとも伝えるが、いつも同じ人から電話がきて、毎回同じ説明をしている。

会長： 先ほど話していたことは、今は基本的に前日の4:00までの予約。それを当日の朝の便も受付をしてとなると、私の認識で説明した通りになると思ひうのですが、無理・負荷がかかったら、それなりの体制を作ればできるとなれば、朝からの人件費などを負担したら可能性があるということになりますか。

委員： 乗る人が8人～10人になると、当日は無理だと思う。前の日に8人で回るルートを組み立てる。1人～2人入ってしまうと、組みようがない。運転手がわからない。どこの会社もそうだと思うが、家がわからないので、運転手が伝聞を持っている。ここに行ったら、次はどこを曲がって何軒目という資料を持って運転をしている。それに沿って順番に回っている。資料がないと回れないし、ルートを組み直すのにも時間がかかる。当日で当日というのは。

会長： かなり難しい。

委員： 難しいと思う。

委員： こちらは予約の資料をもらうだけなので、受付の方が大変だと思う。

委員： 前から言っている通り、当日はハイヤー会社としては無理。エリアによっては、前日まで予約がない空知太の方で当日1台とかだと、まだ可能。会社としては、午前中に予約がなければドライバーを休ませている。前日からわかるので、今日は昼から出勤するという対応を、どこの会社もしていると思う。朝からドライバーを用意するとなると、人件費が相当高くなってしまふ。

会長： まだまだ検討しなければいけない部分があるので、事業者さんといろいろ打ち合わせ、相談したいと思います。

委員： 11:00の便は前から言っている通り、ドライバーの休憩時間。違うドライバーを行かせることができるかという、どこの会社も余裕を持って人を雇っている訳ではないので、無理だと思う。自分が走れば良いが、別の仕事を持っているので、その仕事があれば走ることはできるが、どこの会社もそんなに余裕を持ってやっている訳ではない。

会長： どれだけ11:00に欲しいという声があるのか。

委員： けっこう11:00に欲しいという声はある。

委員： 受付で言ってくる人は、いつも同じ人。理解している人は、市役所で登録をして資料をもらったときに理解している。理解していない人は、何時の便があるのかわからないから教えてと電話がくる。資料をもらっているはずなのに。上手に使う人は、12:00の便で行って12:30の便で帰る。20分くらいしかないけど大丈夫ですかと聞くと、銀行でお金を下ろしてくるだけと言う。理解している人は、すごく上手に使っている。理解していない人が毎回同じことを言っていると思う。

委員： 言われていることはわかるのですが、高齢者というか年寄りが多いので、十分に伝わらないかもしれない。その点は、ご理解いただきたいと思います。確かに時間など、今までやっているのにわかっていない人もいるので、私たちも会合などで説明をするのですが、それでも理解できないのが現状です。そういう面もあるのですが、なんとかご協力をお願いしたいと思います。

会 長： 何か良い方法が見つかると思うのですが、現実的には難しいところがあります。ただ、区域については変えることができるのか、できないかも含め、事業者さんと打ち合わせをさせていただきたいと思います。

→承認

6. その他

事務局： 次回の会議は、国庫補助の地域公共交通確保維持改善事業に係る計画の内容などを協議いただきたいと考えています。計画の認定申請が、6月末までに北海道運輸局へ提出することになっているので、次回会議を6月の中旬から下旬にかけて実施したいと考えています。

【質疑応答】

なし

7. 閉 会

会 長